

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

KU・MAよ、

若くあれ

会長 平林 久

2017年を迎えました。山道を歩きながら、今年はどんなに生きようかと何度も考えてみました。すると、月並みなようですが、まわりと仲良くして道を切り拓いていくということになりました。

それはどうしてかという、去年のイギリスのEU脱退への投票結果と、アメリカのトランプ大統領選出が気にかかるからです。2度の悲惨な世界大戦を身近に経験したヨーロッパが苦勞の末に切り拓こうとした道はどうなっていくのでしょうか。自由な世界をつくり人を受け入れてきたアメリカは変容していくのでしょうか。どちらも世界に後ろ向きの影響を与えるように思えてしかたがありません。

KU・MAの活動は、すでにいろいろな皆さんとの協力でおこなわれています。そして新しい取り組みも始めたいとしています。この協力の際には、お相手のよきところを尊重して、新しい道を見つけていけたらと思うものです。KU・MAももとはゼロから始まったのですから、さらによき方向を探さなければなりません。KU・MAは常に若くなければなりません。

私事ですが、私は宇宙科学研究所を退職してより、この春でちょうど10年になります。またKU・MA会長として満3年です。ここにおよんで時の疾さにおどろき、微力でこの思うように成就しないことを悔やみます。

昨年は遠藤先生を失って副会長が空席のままでした。また、会長、副会長の高齢化を危惧してきました。そこで、昨12月19日の理事会で、これからのKU・MA若返りを図り、積極的な態勢をつくることを提案し、新会長に並木理事を、新副会長に稲葉茂理事を選任していただきました。交代は3月31日の予定です。フレッシュで強力な態勢です。どうぞよろしくお願いいたします。(詳しくは次号にて)



図は、高く自由に未来にはばたく鳳凰の登場です。あとでこれがほぼ一筆描きできることに気づきました。連続性があっていいではありませんか。



おとなを対象とした「おとなの宇宙の学校」(全3回シリーズ)が昨年に引き続き国分寺市で開催されました。

今年度は、国分寺市が主催となり、当会の高柳雄一理事、菊地涼子理事、水谷仁理事の3名が「宇宙と人」をテーマに講演し、各回の後半では、並木道義理事から身近にいるお子さまたちと楽しめる宇宙教育教材の紹介も行われました。

終了後のアンケートでは「各回大変興味深い内容だった」「新しい知識を得られて面白かった」など感想をいただきました。次号で、開催模様を紹介いたします。



▲第三回目 水谷理事 講演
「生命が存在する惑星の条件」